

中央植物園とオックスフォード大学植物園・樹木園との覚書締結の概要

1 目的・概要

中央植物園と英国オックスフォード大学植物園・樹木園とは、本県内における日本産植物の種子収集を共同で行うなどの交流を進めてきましたが、この度、生物多様性保全に関する共同での取り組みの強化や植物コレクションの交換、研究員の相互交流などを推進するため、6月7日に両園長間で覚書を締結しました。なお、同大学植物園・樹木園が日本国内の植物園と覚書を交わすのは本園が初となります。

2 これまでの主な経緯

- ・H24～H26 オックスフォード大学の「日本産植物の種子収集プロジェクト」に協力。
- ・H27. 2. 27 東京ミッドタウンにおいて、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」とヨーロッパクロマツ「トールキン・ツリー」の種子を交換。ウィリアム王子からのメッセージが寄せられる。
- ・H28. 5. 14 G7 富山環境大臣会合において、知事と英国環境・地方局長がバイ会談を行い、両植物園間の共同研究や交流の促進等について合意。
- ・その後も中央植物園長らによる訪英・植物園の視察や上記プロジェクト協力などの交流を行っている。

3 覚書への調印者等

(1) 調印者 富山県中央植物園園長 中田政司

オックスフォード大学植物園・樹木園長 サイモン・ヒスコック

(2) オックスフォード大学からの来訪者 アリソン・ビール（日本事務所代表）

クリス・ソログッド（大学植物園教育普及責任者）

ベン・ジョーンズ（大学樹木園管理責任者）

(3) 覚書の内容

- ・植物の生物多様性とその保全に関する教育と啓蒙を促進するため、情報とアイデアを交換
- ・植物コレクションの交換
- ・研究員同士の情報交換、交流 など

4 今後の主な予定

(1) 英国からの里帰りザクラの輸入

- ・日本から英国に移植された後、日本国内では絶えたサクラ5品種の輸入・里帰りを目指す。
- ・英国及び日本国内での検疫（約1年）を通過した品種は、平成31年11月頃に入手できる予定。

(2) 中央植物園内に英国コーナー（仮称）を造成

- ・同大学植物園との交流を記念し、屋外展示園の一部をリニューアルして、英国風の庭園を造成。
- ・植栽設計はオックスフォード大学植物園の監修・アドバイスを受けて、平成33年度に完成予定。

